

指導歴36年の学習塾経営者が語る
プロフェッショナル

平塚市立神田小学校6年生：総合的な学習

「プロフェッショナルたちから生き方を学ぼう」

発表者：KOSHIN学院 学院長
瀬下淳志 ATSUSHI SESHIMO
2019年11月14日



KOSHIN 耕心
学院

<https://www.koshin-gakuin.jp>

プロフェッショナル

自分らしさを見つめ直す。将来への希望

KOSHIN学院塾長：瀬下淳志

神田小学校6年生のみなさんこんにちは。私は神田小学校の近くで学習塾を営んでいる瀬下（せしも）と申します。KOSHIN学院を作って今年で26年目。塾の先生になってからは37年が経過しました。

本日は「私にとってのプロフェッショナル」ということについて、皆さんにお話しさせていただきたいと思います。どうぞよろしくお願いいたします。

【皆さんにとってプロフェッショナルというのはどういうことでしょうか？】

皆さんがよく耳にする『プロ』という言葉。いろいろありますよね。例えばどんなのがあるでしょう？分かる範囲で構わないので下の欄に書き込んでみてください。

どんなプロがありますか？ 書いてみてください。

きっといろいろなプロを書いたことでしょう。そんなに難しく考えなくても、皆さんのお父さん・お母さんも職場では『プロ』として活躍されています。もちろん神田小学校の先生方も『プロ』として皆さんの指導に携わっています。（携わる←さてなんと読むでしょう）

【私が塾という仕事を選んだ理由】

よく「将来の夢」について聞かれることがあります。皆さんにも「将来の夢」はありますか？ 私は

- ・小学校低学年の頃は「電車の運転手さんか車掌さん」になりたかった。
- ・小学校中学年の頃は「お相撲さんかプロレスラー」になりたかった。
- ・中学生の時には「プロ野球の選手」になりたかった
- ・高校生の時は「歌手になりたい」と思っていた。
- ・大学生の時は「平凡なサラリーマンになりたい」と思っていた。

しかーし!

結局どれにもなれませんでしたし、大人になってからはそれらの職業に興味がなくなっていました。多分『**自分の才能の無さ**』を自分が一番分かっていたからなのだと思います。

ところで学生時代は『**勉強が大嫌いだった私**』が、なぜ塾という仕事を選んだのでしょうか。

あれは中学1年生の時のことでした。勉強が大嫌いだった私は「**夏休み**」を全部水泳と野球だけで過ごしてしまいました。学校の宿題も勉強も「**一滴も**」やりませんでした(笑)

その結果大変なことになってしまいました。夏休みが終わって学校へ行ったのですが『**授業がサッパリ分からない**』のでした。

ふと気がつくとき私の成績は「**314名中307番**」という大変不名誉なことになっていました。

そしてなんと私の母親が中学校の「**校長先生**」から呼び出しをくれました。

「お宅の坊ちゃん、このままじゃ行かれる高校ないよ!」

それはまさに『**最後通告**』でした。

そして校長先生の口から私の母に向けてこんな言葉が飛び出しました。

『瀬下さんよ、教育っていうのはドブに金を捨てるのとは訳がちがうんだよ。俺の知り合いに湘南高校を定年退職した先生がいるんだけど、気難しい先生だけど坊ちゃんを預けてみないか?』

とてもありがたいことに、母はその場で即断即決して、私をその気難しい先生に預けてくれました。

この話には重大な続きがあります!

実は私は中学1年生の今頃の時期には「**アルファベット**」もろくに書けない子でした。その気難しい先生には『**アルファベットの書き方**』から指導されました。

上手に書けないと物差しで手をピシャリと叩かれるのです。痛くて何度も涙をポロポロ・・・。

しかーし!

この先生に見離されたら僕はもう終わりだ!

そう思って一生懸命その先生のところに通いました。すると中学2年生の最初の試験で・・・

奇跡が起きました!

それまで**100点満点**で**10点**くらいしか取れなかったのに、なんと**92点も取った**のです!

そんな経験があったから『塾という仕事』をやってみようかなと思ったのでした。

でもね! 本当のことを言うと、授業は夕方からだから午前中は寝ていられたらと思ったのも事実です。

しかーし!

世の中そんなに甘くありませんでした。

【塾という仕事の内容】

皆さんの中にもすでに塾に通っている生徒さんもいらっしゃると思います。でもね!

皆さんが見ている『塾の先生の仕事』って、ほんの一部なんです。私達の仕事で一番大切なことはなんだと思いますか? 私のように『経営者』となると、普通の塾講師とは仕事内容がかなり違ってきます。

皆さんは『塾の先生の仕事』にはどんなことがあると思いますか?

自分が考える塾の先生の仕事を書いてみてください

塾長の仕事には

①生徒募集

生徒さんが来てくれなければ私達の仕事は成り立ちません。でも全くやる気のない子や他の生徒の迷惑になるような子に来てもらっても困ります。大手塾なんかだと『入塾テスト』をしているところもありますが、かつて私が勤めてた大手塾では入塾試験と言っても名ばかりで、結局『どんな子でも』全員合格させていました。

私のような個人塾ですと、自分で広告（チラシ）を作ったり、ホームページを作ったりしたりパンフレットや封筒なども自分で作ります。勉強を教えるのは得意ですが広告を作ったりするのは毎回本当に悩みます。

②成績管理や入試情報の収集

もちろん中学校の先生も入試の情報は持っています。ただ『学校と同じ情報』だけしか持っていないとするなら、それでは『学習塾』である意味がありません。

私の場合は日本全国の入試情報が、ほぼ瞬時に手に入るようになっていました。ほぼ全国に知り合いの塾がありますし、全国ネットの模擬試験会社や塾専用教材会社さんともお付き合いがあります。

しかーし!

そこまでだけだったら今の時代『どこの塾でも』その程度の情報は手に入ります。その集めた資料から『何をどう読み取るか』『どれが我が塾の生徒に必要な情報か』を識別して生徒や保護者の皆様に提供できるような準備をしています。

③掃除や片付け、整理整頓

私はずっと『玄関やトイレが汚い塾に良い塾はない』と考えてきました。

生徒の皆さんが気持ち良く勉強出来る状態にしておくのも『塾の先生の大切な仕事』です。

私が他の塾を見学しに行くと、真っ先に玄関とトイレは綺麗かチェックします。

④保護者宛の月例通信などの作成

生徒の皆さんに勉強を教えるだけでなく、保護者の皆様へのお手紙の作成も私の大切な仕事です。

他の商売と塾で一番異なるのは『通ってくる人』と『お金を払う人』が違うということです。

『塾長』は生徒の皆さんだけでなく『お金を払ってくださる方へのフォロー』も大切な仕事です。『月例通信』はもちろん、この4年間ほどは『ブログ』や『Twitter』などでも私の考えなどの情報を発信して、保護者の皆様に理解していただけるようにつとめています。

【仕事への思い】

①喜びややりがい

なぜこの仕事を40近く続けてこられたかと言えば、それは『生徒の皆さんが可愛くてたまらないから』ですし、『生徒の皆さんと一緒にいるのが楽しい』からです。そして可愛い子達が『私の言葉』で成長していくのを見られるからです。

なんと言っても『生徒の皆さんから元気をもらえる』のが一番ありがたいです。すっごく疲れている時でも、生徒達が来てくれるとそれだけで元気が出てきちゃうのです。

②難しさ

逆に私から質問です。もしあなたが『塾の先生』だったら、どんなことが難しいだろうと思いますか？

あなたの考える塾の先生の仕事の難しさ

塾の仕事の難しさを「ひと言」表すならば、それは『人間関係の難しさ』です。

私の学生時代を振り返ってみると必ずしも

「好きな先生」＝「成績をあげてくれる先生」

ではなかったような気がしています。

あまり叱らなくて、優しくて宿題も出さない。しかもイケメンとなれば生徒からの『人気』は高くなります。

しかーし!

本当にそれで勉強ができるようになるのでしょうか？

学生アルバイト講師のお兄さん、お姉さんならそれでも良いのかもしれませんが。

しかーし!

『塾長』となるとそうはいきません。

私は『生徒の皆さんのやる気』を奮い起こさなければなりません。

そのためには時には厳しく生徒を叱らなければなりません。

最近の学習塾ではサービス業に徹して（金儲けに徹して）『生徒を叱らない塾』もあります。

それは『生徒のことを真剣に考えていない』証拠だと思っています。

しかーし!

生徒を叱るといというのは本当に難しいです。私も何度も失敗した経験があります。

『やる気を奮い起こす』ために叱るのに、反対に『やる気を奪ってしまった』という苦い経験も一度や二度ではありません。

で・も・ね!

人は誰でも『失敗からしか学べない』のです。だから『経験』というのはとても貴重なのです。

皆さんもこれからの人生で、どうしても『失敗』してしまうことがあるでしょう。そんな時にはこの言葉を思い出してください。

「失敗」と書いて「経験」と読む

③ 困難を乗り越えるときに大切にしていること

これも皆さんに質問してみましようか？ 皆さんだったら困難を乗り越えるときにはどうしますか？

あなたが考える困難の乗り越え方

私が困難を乗り越えるときに大切にしていること

□ 失敗を引きずらない

くよくよ悩んでも仕方ないことは悩むのをやめてしまう

別れたら次の人

次へ行きましょう! 次へ!

□ 自分の信念は曲げない

自分の気持ちに嘘をつかない

本当に自分がやりたいことを貫く

でも謙虚さは忘れない

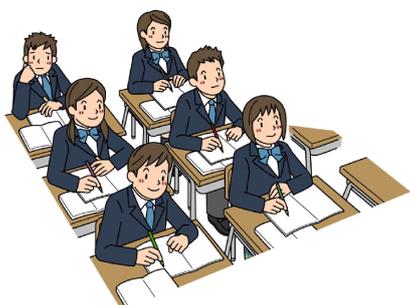
どうにもならないほど苦しい状況になった時には、『自分の心の声』に耳を傾けることにしています。

本当は自分はどうしたいのか?

そこがぶれてしまうと、いかなる結果になったとしても後悔してしまうからです。

皆さんは来年中学生になると『部活』『委員会』『体育祭』『文化祭』『中間試験』『期末試験』そして『高校入試』と、ものすごく忙しくなります。特に夏場の部活はクタクタのヘロヘロになるほど疲れます。

忙しくなって自分を見失わないようにして欲しいです。



【夢を叶えるために大切だと思うこと】

これも皆さんに質問してみようかな？ 皆さんは夢を叶えるために何が必要だと思いますか？

夢を叶えるために必要だと思うことを書いてみましょう

私の場合は『夢が見つからなかった時期』が人生で一番苦しい時期でした。実はKOSHIN学院を作る前の1年間は自宅に引きこもっていました。

この先どうやって生きていけば良いのだろう？
僕なんか生きていても仕方ないんじゃないか？

毎日自問自答していました。

それまでの自分は『誰かに雇ってもらおう』ことばかり考えていました。お給料が良くてそんなに厳しくなくて、お休みもちゃんともらえるような就職先を探していました。

そんなある日自宅近くの田んぼのふちを散歩していたら『小さな塾』を見つけました。

その塾の先生は生徒達と本当に楽しそうな笑顔で話していました。『大手塾に勤めていた私』からすると信じられないほど楽しそうな笑顔でした。その瞬間に・・・

これだ！俺がやりたいのはこれだ！

そう思ったのが3月。そしてその年の10月15日には最初の生徒が来てくれました。

夢を叶えるために必要なことはこのことだと思っています。

どこまで本気なのか！

中途半端な覚悟では夢を叶えるのは難しいということです。皆さんも『本気』になれるもの見つけて欲しいです。

【このお仕事におけるプロフェッショナルとは】

いよいよ今日の最終テーマです。皆さんはプロとアマチュアの違いはなんだと思いますか？

あなたが思うプロとアマチュアの違い

私の趣味のひとつに『料理を作ること』があります。我が塾の生徒達にも私の料理はなかなか人気があります。

しかーし!

私は料理のプロではありません。『プロの料理人』は何回料理を作っても正確に同じ味をお客様に提供できます。ですが私の料理は『毎回味が微妙に違う』のです。

お客様は『この味』を求めて『お金を払って』食べに来てくださいます。それなのに毎回味が違っては食べにきた意味がなくなってしまうます。

いつも同じサービスを提供できること

これはプロなら当然のことです。

さて私の仕事ではどうでしょうか。私が常に心がけていることは

生徒の心に響く指導

です。ただ単に分からない問題を解いてみせるだけなら『学生アルバイトのお兄さん・お姉さん』でもとても上手な人がいます。KOSHIN学院でも『卒業生スタッフ』が授業のお手伝いをしてくれています。時々私も驚くほど上手に説明していることがあります。

しかーし!

『塾長である私』はそれだけではいけません。生徒の皆さんが『本当に塾長の言うとおりでな』と思ってもらえる指導をして結果を出させてあげること。これを常にできることが私の考えるプロフェッショナルです。

以上です。ありがとうございました。